



まくべつ

今月の題字は小野寺まゆみちゃん（幕小1年）に書いていただきました

広報

6 / 1970

No. 228

——主——な——内——容——

- ☆町議会だより／グレーダー導入 …………… 2頁
- ☆高齢者のための年金 …………… 3頁
- ☆交通量調査結果／自転車の安全な乗り方 …… 4～5頁
- ☆1日消防団長／表紙写真説明／1刻をあらそう火災鎮圧 …………… 6頁
- ☆悪書追放道民運動／春の防犯診断 …………… 7頁
- ☆公区長会議／自衛隊の援農 …………… 8頁



臨時第二回町議会が、六月八日に開かれ、十五議案、報告二、協議案二を、それぞれ審議し、何れも原案通り可決しました。主な内容は次の通りです。

総合計画策定審議会を設置

一般会計五千三十七万円を補正

工場誘致のための特例によって個人および法人にたいし、町長が必要と認めたものについては、融資することが出来ませんが、今回の一部改正によって、融資額が三百万円をこえるときは担保を必要とすることになりました。

町長の諮問に応じ、町の総合計画について調査および審議をおこなう「総合計画策定審議会」を置くことになり、条例を設けました

審議会は委員三十人以内で組織しますが、町内各層の方々に委嘱し幕別町発展のために、じっくりと調査および審議していただくことになっております。

幕別町発展のために、じっくりと調査および審議していただくことになっております。

幕別ほか六町学校給食施設協議会に関する協議について
幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町、音更町、上士幌町、足寄町の六町が、学校給食用パン工場建設資金融資事務を共同で管理し、かつ執行するため、幕別ほか六町学校給食施設協議会を設けることになりました。

町道の路線認定
あかしや西団地道路総延長七百六十三・九六メートルを町道と認定しました。

昭和四十五年度一般会計補正予算
大型除雪兼用ブルドーザーの購入、交通信号機(本町)の新設、国営駒場直轄明渠排水事業負担金などに充てるため五千三十七万九千円を追加しました。この結果、一般会計の総額は九億三千九百八十七万九千円となりました。

幕別議友会で総会を開きました
村会議員、町会議員として、本町発展のためにつくし、現在は第一線からしりぞき、後輩の活躍を見守っている方々で組織して

幕別議友会の総会が、六月二日午前十時から幕別温泉ホテルで開かれました。

まず、昭和四十四年度行事報告同会計報告のち、新年度予算を審議し、これを決めたのち、去る二月に死去した山田留次郎さんの後任幹事に、山崎長一さんを選出また、歳末たすけあい運動に協力

グレーダーを導入

町では全長七メートル八十五センチ、重さ十二トという大型のグレーダー(除雪兼用車)を導入しました。

これは、二年連続の大雪で交通網が切断され、この間、町民生活に大きな支障をきたした教訓から導入したもので夏季は路面改良に使用することになっています。

なお、このグレーダーの操作は、すべて油圧式で、除雪と路面改良に偉力を発揮することでしょう。

導入した大型グレーダー



員との懇談を積極的に実施すること、その他を満場一致で可決しました。

このあと、中島町長を迎えて、町政を聞く会を持ちましたが、もう一度立候補するか、という冗談も飛び出すほど元気いっぱいだった。

なお、議友会員は三十二名、役員は会長―小尾寅平、副会長―笹島喜八郎、山田栄、会計―杉田和夫、幹事―日野治安、横山辰雄、山崎長一の皆さん。

議友会総会風景



すること、議会傍聴および現職議

例

■町税条例の一部を改正する条
今まで百円につき一日二銭であった、たばこ消費税の延滞金を年七・三割に、一日四銭であった他の税の延滞金を年一四・六割にあらためました。

このほか身体障害者が所有する軽自動車は税を減免することが出来ることになりました。くわしい内容は税務特集号で、お知らせします。

■中小企業融資に関する条例の一部を改正する条例

締切りは六月三十日

高齢者のための年金制度

国民年金に四年間保険料を納めると、年額三万円の老齢年金が受けられるという高齢者のための年金制度があります。

この年金制度への加入申し込みは、この六月三十日で締切りられ、以後は拠出制の年金を受ける方法がなくなります。これは、国民年金に、なんらかの都合で加入出来なかった高齢者のために、ことし一月に特例で設けられたものです。まだ加入していない方は期日までに町役場民生課年金係で加入手続きをしましょう。この年金に加入できるのは次のような人々です

▽明治三十九年四月二日から四



十四年四月一日までの間に生れた人

▽かつて国民年金の被保険者になったことのない人

▽加入の際、他の年金制度の被保険者や組合員でない人

▽他の年金制度から年金または恩給を受けていないか、または受ける資格期間を満たしていません

なお、納める保険料は月七百五十円で、五年間納めることになっています。

自分の住む所は自分の手で

宝町区 排水溝の清掃を実施

町と衛生会では、六月を環境整備(清掃)月間ときめ、町民の皆さんに、家の廻りの清掃を呼びかけました。

この呼びかけに、多くの方々が応じていただき、見違えるように

上の写真は排水溝を清掃する宝町公区の皆さん

国保の運営は町で

国民健康保険(略して「国保」といいます)は、どんなしくみになっているのでしょうか

国保の事業を運営するものを「保険者」といい、幕別では町が、これにあっています。加入希望者が町に手続きをすると「被保険者」となり毎月きまった保険料を納める義務を負うこととなります。

加入した時の利益

被保険者になると同時に「保険証」がわたされます。そして「保険事故(病気やケガ)がある

国民健康保険

③

と、この保険証をもって医者にかかります。病気やケガの治療は、治療費のうちの一部を支払うだけで治療を受けることが出来ます。

残りの代金は医者が保険者に請求書を出し、保険者は、それが正しいかどうかを審査したのち、残りの代金を医者に支払います。医者に支払われるお金は、被保険者が毎月納めている保険料から出されるのです。

国保のしくみは、おおざっぱにいうと以上の通りですが、病院に行くときは、必ず保険証を持参することを、忘れないようにしましょう。

が、まだ一部の地区で道路、家の廻りの汚れが目につくところもあります。美しい住みよい幕別とするために、皆さんのご協力をお願いいたします。

たばこ消費税の伸び

昨年一年間、町に入った「たばこ消費税」は千八百五十万円、これは千九百二十万円をみこんでいます。たばこは町内の店から買うようにしましょう。

なお、街の中を回ってみました

45年2月分の国保診療費

(加入数 9,870人)

	件数	日数	診療費(円)	自己負担金(円)	保険者負担分(円)	国負担分	受診率%	1人当診療費(円)	1件当診療費(円)
入院	115	1,863	4,662,675				1.17	472	40,545
入院外	2,650	7,588	6,018,023				26.85	610	2,271
歯科	674	3,158	1,967,961				6.83	199	2,920
計	3,439	12,609	12,648,659	3,742,986	8,731,184	174,489	34.84	1,282	3,678
前年同月比%	112	109	131	130	129	157	116	135	117
前年度平均比%	118	114	147	147	147	137	120	150	125

十二時間に五千五百八十輛も通過

最も交通量の多いのは朝と夕方

町では、去る五月二十九日の午前七時から午後七時までの間、幕別市街十字街で歩行者数および車輻交通量調査をおこないました。

調査は、図のようにA、B、C、D、Eの五地点でおこない、この調査結果を

幕別市街十字街で交通量調査

分析し、今後の交通安全対策の資料としますが、去る四十三年には最も交通量のはげしい国道三十八号線で二十四時間に八千四十四輛であったものが、今回の調査は幕別市街内のうへ、しかも時間が半分の十二時間で五千五百八十四輛という交通量を記録したことは注目されるものがあります。各調査地点別の結果は次表の通りでした

また、各調査地点別のピーク時は次の通りで、A地点では夕方、B地点では朝、C地点では朝と夕方、DおよびE地点では夕方が歩

調査地点	A	B	C	D	E	計
歩行者	331	482	713	951	355	2,832
2輪(含自転車)	252	386	234	315	119	1,306
乗用自動車	427	401	337	907	191	2,263
普通貨物自動車	338	337	297	350	113	1,435
大型貨物自動車	176	103	46	245	10	580
計	1,193	1,227	914	1,817	433	5,584

A地点

歩行者一十六名の六十名が最も

二輪車一七時の三十四輛、十七時三十二輛、十五時二十七

輛の順。

乗用自動車一十七時五十六輛、八

時四十八輛、七時四十五輛、十五時三十九輛の順。

普通貨物一十七時四十九輛、十六時三十三輛、十四時三十一

輛の順。

大型貨物一十一時二十八輛、十六時二十三輛、十時および十四時三十一輛の順。

B地点

歩行者一七時八十一名、十五時および十七時五十八名、十八時五十二名、十六時四十九

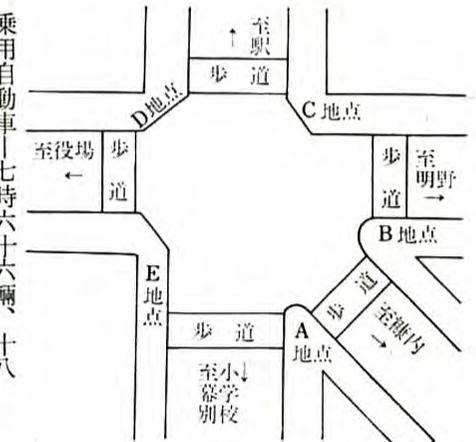
名の順。

二輪車一七時および十八時四十四輛、十七時四十三輛、十四時および十五時四十二輛の

順。

乗用自動車一七時六十六輛、十八時四十七輛、十七時四十六輛、八時および十四時三十二輛の

順。



調査地点の図

D地点

歩行者一七時百三

十一名、十三時百十六名、十四時九十七名、九時九十五名

の順。

二輪車一十七時四十四輛、七

時四十一輛の順。

乗用自動車一十七時百十七輛、十八時百十四輛、十四時八十九

輛、十時八十五輛の順。

普通貨物一十時三十六輛、九時

および十一時三十四輛の順。

大型貨物一十五時三十二輛、十四時三十一輛、十二時二十六

輛、十時および十一時二十五

輛の順。

E地点

歩行者一十四時八十名、七時

五十三名、十五時四十五名の

順。

二輪車一十四時二十六輛、十

三時十八輛、十七時十六輛の

(次ページ上段につづく)



必ず前後左右を確認

自転車の安全な乗り方

順。
 乗用自動車一十七時二十九輛、九時二十五輛、十四時十九輛の順。
 普通貨物一十三時二十三輛、九

時十七輛、十二時十六輛、十五時十一輛の順。
 大型貨物一十三時および十四時二輛。

町では小中学校の児童生徒を対象に交通安全教室を開催していますが、この講習会で、ほとんどが自転車の安全な乗り方を知らず、指導員に注意されていました。自転車は、だれでも、たやすく乗れるため、かるがるしく考えられています。最近、たいへん事故が多く自転車に乗る時は十分に注意し、交通事故を起さないようにしましょう。

〈ブレーキのふみ方〉
 普通の場合はハンドルの左がわにある後輪のブレーキ・レバーを少しずつしめながら右手をななめ下に出して後の車に合図し、一時停止をするときは、乗ったまた左足を地面につけて立ち、右足のペダルをななめ前方にまわしておきいつでも発進できるようにする。

急ブレーキのときは後輪（左手レバー）と前輪（右手レバー）の両方のブレーキを強くしめると同時に両足をのぼして、ころばないようにする。

写真は交通安全教室にて

交通事故巡回相談を開催します

激増する交通事故に対処し、被害者救済を目的に交通事故巡回相談を開設します。これは道交通安全対策事務局が主催するもので、相談料は無料です。賠償問題、更生問題その他、どのような問題についても親身になって相談に応じてくれます。多数の方が利用されるよう、お知らせします。

日時 6月26日 午前9時
 場所 幕別町民会館

〈発進〉
 自転車は車道（歩車道の区別のないところは道路の左はし）の左はしで自転車にまたがり、後方の安全をたしかめながら右手を水平に出して合図をしてから発進する

〈停止〉
 自転車を止めるときは、まず、後方の安全をたしかめ、右手をななめ下に出して合図をしてから、左手で後輪のブレーキをかけながら道路の左はしで止る。

〈横断歩道での停止〉
 横断歩道に近づいたときは、徐行しながら、その手前で停止し、発進の準備をしながら、歩行者が横断を終るのを待って、または信号機のあるところは青信号の進め

になるのを待って発進する。

〈交差点での停止〉
 交差点は、とくに危険なところですので、後ろからくる車に停止の合図をして、静かにブレーキをかけながら停止線で止る。

〈右折のしかた〉
 信号機のある交差点では、交差点の三十呎手前から右折の合図をして徐行し、信号が黄と赤のときは停止線で止り、信号が青になったら左右の安全をたしかめ、徐行して前方の横断歩道の手前で停止し、進む方向の信号が青になったら発進する。

信号機のない交差点では、交差点の三十呎手前から、左側により右折の合図をして徐行し、交差点の手前で左右を確かめてから発進し前方の左はしで止り、もう一度前後、左右の安全を確かめてから発進する。

〈左折のしかた〉
 信号機のある交差点の三十呎手前から差折の合図をしながら徐行し、信号が青になったら交差点の左はしにそって徐行する。

信号機のない交差点でも、三十呎手前から左折の合図しながら徐行し交

掛金は1日1円

町民交通傷害保険

交通事故にあってから、町民交通傷害保険に加入しておけば良かったと後悔している方が、かなりおられます。交通事故は増えるいっぽうです。いますぐ加入いたしましょう。

なお、保険に加入した方はすでに4,500人をこえています。事業所または公区などの団体で取り纏めていただきますと、係員が参上いたします。個々の場合は町役場企画課においてください。

差点の手前で左右の安全を確かめてから、交差点の左はしにそって左折する。

なお、夜間自転車に乗るときは灯火をつけなければなりません。ハンドルやブレーキその他の装置をいつも整備しておきましょう。

このほか、手ばなし運転、二人乗りや三人乗り、げたやスリッパなどで乗ること、かさや物を手に持つて乗ることは、してはいけません。

火災の鎮圧は一刻をあらそいます

消防が出動しても
お金はいりません

すぐ消防に連絡してください

火災に出動した消防団員が、ようやく消しとめたのち、火元の人に「なぜ、もっと早く消防に連絡してくれなかったのか」と質問しました。

一刻も早く消防に連絡さえしてくれれば、大事にいたらずに消しとめることが出来る火災も、通報が遅れたため手遅れとなった例が多いへん多く、初期消火に力を入れていた消防団では、ことあるごとに、早く知らせてほしい、と望

んでいるのです。

ところが、その主人は「消防に知らせ消火してもらおうとお金がかかるので、自分たちで消しとめようとしたが、手がつけれなくなつた」と語り、町民の大切な財産と生命を守るために懸命となつている消防団員を、びっくりさせました。

このように、消防団に消火してもらおうと、お金がかかる、と思ひこんでいる方が、まだ一部にいます。これは、まことに残念なことですが、消防団は、町民の皆さんの大切な財産と生命を守るために設けられているもので、消火に従事しても一銭のお金も要求しません。

最近のように、身の回りに火災の原因となるものが多く、一般の方が簡単に消しとめることは困難となっております。火災が発生したら、一刻も早く消防に知らせ、ボヤのうちに消しとめてもらいまし

五月二十四日に開催された春の
連合演習で実施した一斉放水風景です。



よう。市街地区の場合なら、連絡を受けてから三分程度で消防ポンプ車は現地に到着、消火作業に従事することが出来ます。

去る五月二十四日には、春の連合消防演習が猿別川川畔で開催されましたが、放水演習では、現在

婦人会々員が一日

消防団長に就任

町消防団第一分団では、家庭を守るお母さん方に、消防団員の活動ぶりを見ていただき、かつ、防火の大切なことを認識してもらおうことを目的に、去る五月九日に「一日消防団長」を婦人会有志の方々にお問い合わせいたしました。

一日団長に就任したのは、高橋愛子、万恵永子、中川睦子、森脇榮孝、田所敏子、佐々木美江子、只野君代、三好八重子の皆さんでした。八名の団長はポンプ車に同乗、町内パレードをおこなったのち、消防庁舎前で

の消防ポンプ車の操作では限界と言われている十五秒前後で放水を開始しました。これは初期消火のため、一秒という時間も短縮しよう、と、猛訓練を積み重ねた結果のあらわれなのです。ですから、火災が発生したら一刻も早く消防団に連絡するようにしてください。だが、いかに早く消火しても、貴重な財産の一部は失われます。そのためには、常に火の元に注意し、火災を出さないようにすることが最も大切なことなのです。



中島司令から辞令が渡されましたが、はじめはコチコチであった拳手の礼も、すっかり板につき、なかなかの一日団長ぶりでした。

辞令を受ける一日消防団長

表紙写真説明

老人クラブで交通安全教室を開催

「信号機のないところより信号機のあるところが安心して歩くことが出来ます。信号機が赤のときは絶対に横断しないでください。さあ青になりました。横断歩道を渡りましょう。」

交通指導員の説明でおいしさんや、おばあさんが横断歩道を渡りはじめました。

「信号は黄色になりました。早く渡りましょう。渡ろうと思っている時に黄色になったら、元の位置で待ちましょう。」

これは、老人クラブ交通安全教室の一駒です。町ではお年寄りを交通事故から守るため、老人クラブの定例会を利用して、お年寄りに交通信号機の見わけ方をおぼえていただきました。

道路も自由に歩くことも出来ないなんて……と昔をなつかしむ、おじいさん、おばあさん。でも、皆さんは、指導員の説明に耳をかたむけ、熱心に信号機の見わけ方を勉強しました。

町民会館構室で講習を受けるお年寄りの皆さん

キイをつけたままの単車も

春の防犯診断 団地を主に実施しました

防犯協の役員、少年補導員による春の町内防犯診断が、五月二十一、二十二の両日、暮別および札内市街で、何れも午後八時から十時まで実施されました。

診断は団地を主におこないましたが、戸締りについては、まあまあですが、犬を飼っているから…という安心からか、戸締りをせずに留守をしていた、と、いう例もあり、また、ほとんどの車はドアにカギをかけておらず、単車はキイをつけたままというのもありました。

なお、行楽の季節到来とともに一家そろって留守にすることが多くなりますが、家をあけるときは

現代の青少年は、戦前の青少年にくらべて、明るく合理的、現実的であり、新しい知識、技術などに興味を示す反面、国家や社会公に關する関心は薄く、自己本位の傾向にあります。

これは、急激な産業構造の変化消費生活水準の向上と生活様式の変化その他が原因しており、これを裏がえしてみますと、青少年は

ほんの僅かな時間でも、必ずずカギをかけるようにしましょう。

少年補導員の氏名

帯広警察署から、次の方々が少



少年補導員に任命されました。少年補導員の仕事は、次の時代を背負ってたつ少年の非行を防止するの

が、主な役目ですので、町民の皆さんの、ご協力を、お願いいたします。

池下功一(本町) 吉田重男(南町) 久保実(札内) 梅橋茂夫(緑町) 国枝清由(南町) 麓治雄(札内) 本保喜秀(本町) 武田衛(旭町)

「水死事故」が増えています

こどもの一人遊びに注意しよう

日一日と暖くなり、水辺がこいしい季節となりました。ところがこの季節になると、こどもの水死事故が急激に増加、つい最近も札内川で、こどもが水死しました。

こどもは水辺で遊ぶのが大好き、とくに、いたずらざかりのこどもは急な流れや、深みのある場所を好んで遊びます。それだけに

防犯診断をする皆さん

に展開することになりました。

すなわち、①家庭内から青少年にみせたくない本を排除する②有

「悪書追放」道民運動を展開

では、青少年の健全育成上有害と

みられる図書などが激増傾向にあるところから、ことしは「有害図書等排除」を道民運動として強力

害図書等を読まない、見ない③良書の普及につとめる、ことを目標とすることになりました。町民の

皆さんのご協力をお願いいたします。

意しましょう。

商工会で役員を改選

昭和四十五年度商工会の通常総代会が五月十五日に開かれ、席上役員改選をおこない、次の方々がそれぞれ選ばれました。

▽会長―笹原登 ▽副会長―斎藤正美、小田善一 ▽専務理事―小尾昭二

▽理事―沢井重一、佐藤七三郎 滝川登、万和則、森脇仁、木川拓二、伏屋隆芳、宗内信一、西尾保砂田吉久、福田省市

▽監事―森下明有、笹井俊治

篤志寄付者のお名前

◇本町の牛尾コトミさんは、娘さん(久代さん)の結婚を記念して、金三万円を、町社会福祉協議会に寄付しました。

◇札内市街の宗岡久江さんは、浅市さん(夫)の香典返しを廃して金五千元を、町社会福祉協議会に寄付しました。

◇五位の山田定雄さんは、お父さん(留次郎さん)の香典返しを廃して、金五万円を町社会福祉協議会に寄付しました。

◇錦町の須田尠さんは、このほど幼児用雨合羽六十着を保育所に寄付しました。

既存団地の整備など

公区長会議 活発に質疑応答

町行政の推進に大きな役割をはたしていただいている公区長さんの会議が、六月十一日午前十時から幕別温泉ホテルで開かれました

主な質問の内容

- 交通安全について
- 明倫の防犯灯について
- 葬祭費について
- 団地、公区境界について
- 新川の堰内排水について
- 明倫水道について
- 既存団地の整備について
- 悪臭公害について
- 生活保護について
- 札内団地と春日団地の直通道路について
- 道路上にある建物について



公住の補修について
一堂に会した公区長さん

このあと、各課の所管事項と行政組織、本年実施する事業の内容を説明したのち、質疑に入りまして。質問の主なものは次の通りでこれにたいし、町長および関係課長が答弁しましたが、予定の時間を一時間半も超過する熱のはいっ



自衛隊員さんが人手不足農家に出勤

ことしも人手不足の農家に自衛隊員さんが出勤し、ビートの移植作業に汗を流しました。

自衛隊員さんが出勤したのは五月十八日で、この日、日新二、昭和、新和の三農家に計五十五名が入り、テキパキと作業をすすめ、人手不足の農家に感謝されました。なお、ビート移植作業に出勤した自衛隊員さんは、何れも休暇を

移植作業中の隊員さん

とっての善意の奉仕で、感激した中島町長は、早速、移植作業中の隊員さんを慰門激励しました。

個人宅地建設資金を

おかしします

個人住宅建設資金および住宅改良資金の貸付けを、次の要領でおこなっています。貸付金融機関は北洋相互銀行帯広支店、帯広信用金庫、北海道銀行帯広支店ですが、くわしい内容は町役場都市振興課開発係にお聞きください。

一般個人

。貸付限度額—耐火、簡耐百

広報まくくべつ 発行 幕別町役場(幕別町幸町七〇番地) 編集 企画課広報青少年係 印刷 大同出版紙業株式会社

十四万円、木造百一十万円、二百一・八ヘクタール二十二牧区と土地十七万円。但し、土地貸付けについては、土地区画整理事業施行地区内のみ

農山漁村住宅

。貸付限度額—耐火、簡耐百

二十九万円、木造百十五万円、特例(簡耐)百五十二万円、(木造)百三十五万円。

住宅改良

。貸付限度額—四十五万円まで。

なお、受付期間は何れも十月三十一日となっていますが、一般個人で建物、土地資金あわせての貸付けは七月二十日までとなっています。

町営育成牧場に乳牛を入れました

牛を入れました

去る五月二十二、二十三の両日町営乳牛育成牧場への入牧がおこなわれました。この二日間に酪農家から搬入された乳牛は四百九十七頭ですが、近く百五十頭の入牧が予定されており、牧場開設以来の入牧頭数となります。

これは、その後の牧場造成で牧場面積が三百八ヘクタールから三百六十二ヘクタールに、草地面積も百八ヘクタール十八牧区から二

「歩こう会」に家族全員が参加しよう

歩こう会

ことしも、去る五月の第二日曜日から「歩こう会」が、幕別と札内地区で開かれました。

幕別地区は小学校々庭に、札内地区は駅前広場に集合、まず、ラジオ体操をしたのち、約四時の道を元気よく歩きました。

なお、第二回目は六月十四日に開きましたが、毎月一回、第二日曜日に実施しますので、多数の方が参加し、早朝のすがすがしい空気の中で体力づくりをいたしまし

元気に歩く一行(幕別地区で)

